



## 「つめ」や「かみの毛」を切っても痛くないのはなぜ

### 切っても痛くないのは

人間の体には、切っても血が出ず、痛くないものが二つあります。それがつめとかみの毛です。つめとかみの毛も、皮ふから出ている部分には、血管も神経もないからです。

### 「つめ」のしくみ

つめは、皮ふが固く変化したものです。根元の部分を爪根（そうこん）といい、皮ふの中にかくれています。この部分で、つめは、いつも、少しずつつくられているため、だんだんおし上げられて、のびてくるのです。爪根の部分や、つめの下の指の皮ふには、血管も神経もありますから、この部分を切ると、もちろん、血が出ますし、痛みも感じます。切っても血が出ず痛くないのは、指の先から、はみ出た部分のつめだけです。

### 「かみの毛」のしくみ

「かみの毛」も、皮ふが変化したものです。かみの毛の根元の毛根には、毛乳頭というものが、皮ふの中にかくれています。この部分で、かみの毛は、いつも、少しずつつくられているため、だんだんおし上げられて、のびてくるのです。

毛乳頭には血管がきていますし、かみの毛の根元がかくれている皮ふの部分には、血管も神経もきていますので、かみの毛をむりにぬくと、血が出たり、痛かったりします。

かみの毛の場合も、切っても血が出ず痛くないのは、皮ふから出た部分だけです。

（監修・保志 宏）

